

今回 勤続5年のご褒美で2014年12月21日～27日まで海外研修旅行に行ってきました。

木戸所長よりいくつかの看護師向けの海外研修プランを薦めていただきました。その国の訪問看護の情勢を知るプランや病院や施設を見学するプランなどがありましたが、私は「インドボランティア研修」を選びました。マザー・テレサが活動していた施設でのボランティアができる研修です。

「Missionary of Charity(神の愛の宣教者会)」マザー・テレサが設立しキリスト教団体が運営している施設でコルカタに約10カ所あります。ここは貧しい人や病気の人などのためにある施設で私がボランティア活動させていただいたのは女性の精神疾患持つ方が生活されている施設と障がい児の施設でした。洗濯 掃除 食事介助 オムツ交換などの手伝いやそこにいる人たちとのコミュニケーションをとおして日本との習慣の違いに驚きながら…でもこれがここでの現実なのだということを痛感しました。医療面や衛生面、物の豊富さを比べても日本は本当に恵まれていると思いました。

ボランティア活動にはロシア、スペイン、イギリス、マレーシア、韓国など世界中から来ている人な出会いもありました。自分の休暇を利用して毎年参加している人、時間があつたから立ち寄ってみたという人、ボランティア活動のために1年8ヶ月住んでいるという74歳の日本人女性もいました。今回はほんの少しのお手伝いでしたが、行ってみなければわからなかったことを見て聴いて肌で感じてきました。

研修の中には観光もありました。中でも世界遺産のタージ・マハルは素晴らしかったです。ガイドさんの説明を聞きながらインドの歴史も感じてきました。

今回このような機会をあたえていただきとても感謝しています。今後「訪問看護ステーションは一と」が更に発展していけるよう力を注いでいきたいと思います。10年目のご褒美も目指して(あるのかなあ…?) 頑張ります。

